

分担金・拠出金の名称	中央緊急対応基金(CERF)拠出金	平成28年度 予算額	154,309千円	総合 評価	B
拠出先の国際機関名	中央緊急対応基金(CERF)				
国際機関の概要	国連人道支援改革の一環として設置されたものであり、(1)突発的な大規模災害・紛争発生時に緊急人道支援に関する初動財源を確保することにより、被害の拡大を最小限にとどめること、及び(2)「忘れられた危機」への対応を可能にすることを主な目的としている。				
評価基準		達成状況			
1. 当該機関等の専門分野における影響力・貢献	<p>・CERFは、(1)大規模な災害や紛争の発生直後に、緊急人道支援の初動財源を確保し、ドナー等からの資金が集まるまでの空白期間を埋め被害の拡大を最小限にするとともに、(2)注目が集まらない資金不足の人道状況への対応を可能にし、被災した人々がその生存に不可欠なニーズを満たすための資金を提供しており、我が国が重視する人間の安全保障の推進や効果的な人道支援の実施に貢献。</p> <p>・CERFは2015年にイエメン、シリア、ソマリア、スーダン等の紛争被災者への支援やネパール地震、東アフリカや中南米地域で発生した干ばつ等に迅速に資金を割り当てるなど、人道支援の迅速・柔軟な実施に極めて有効な手段として評価された。</p> <p>・CERFへの拠出は、効率的・効果的に人道支援を提供するために国連を中心に進められている人道支援体制の改革そのものへのコミットと受け取られており、欧米諸国のみならず、新興ドナーや小国も拠出を確保している。</p>				
2. 我が国重要外交課題遂行における当該機関等の有用性(意思決定における我が国のプレゼンスを含む)	<p>・我が国は、CERFを管理しているOCHAのドナー・サポート・グループ会合(毎年の高レベル年次会合及びNY・寿府における2ヶ月毎の実務者会合)及びプール基金への拠出国がOCHAとの間で開催するプール基金作業部会のメンバーであり、これらの会合を通じてCERFの運用に対する発言力・影響力を確保している。また、OCHAの高レベルとの意見交換等を通じて我が国意見を反映させている。(注:CERFは国連事務局内のOCHAが管理している)</p> <p>・人道ニーズへの迅速・柔軟な対応が国連や主要ドナー、NGO等の人道支援関係者の間で大きな課題となっており、2016年5月に開催された世界人道サミットにおいて、人道支援ニーズは、適切かつ予見可能な資金によって満たされるべきとして加盟国から、CERFを10億ドルに増加させることにつき幅広い支持が表明された。CERFへの我が国拠出は主要国との政策協調を図る上で重要な役割を果たしている。</p>				
3. 当該機関等の組織・財政マネジメント	<p>・CERFは、パフォーマンス評価や各種外部評価を実施。評価結果を踏まえ、パフォーマンス及び説明責任に関する枠組を策定し、透明性の向上に努めている。また、リスク行動計画を作成し、年次進捗報告書を作成している。</p> <p>・申請から拠出までの期間短縮、被災者やNGO等への説明責任の強化に努めているほか、外部評価の指摘事項を踏まえた各国の人道調整官からの年次活動報告書の内容の充実化(性別、年齢別の裨益者データの記載等)を図るなど、効率的・効果的な資金運営と説明責任の強化に取り組んでいる。</p>				
4. 当該機関等における邦人職員の状況	<p>・OCHAの日本人職員数(専門職以上)は、2014年の11名から2015年には12名に微増(2012年の9名から増加)。</p> <p>・OCHAは、2015年に日本に派遣された国連主催の国際機関合同アウトリーチミッションへの参加や大学におけるセミナー、日本大学院生のインターンシップ受入れ等を通じて、邦人職員増強に向けた積極的な取組を実施。(注:CERFは国連事務局内のOCHAが管理している)</p>				
5. 我が国拠出の執行管理、PDCAサイクルの確保	<p>日本の拠出金の執行管理につき、以下のPDCAサイクルを通じ適切な報告・フォローアップが行われている。</p> <p>①計画段階(Plan): 我が国の関連政策(「経済財政運営と改革の基本方針2015について」)や国連統一アピール(人道対応計画)等に照らしつつ、予算要求。</p> <p>②実施段階(Do): 予算拠出。国連から派遣された人道調整官が各人道支援機関間の優先事項を調整し、OCHA本部に申請。案件審査を経て、各事業への拠出が決定。OCHAドナー・サポート・グループ会合、プール基金作業部会等を通じて、CERFの活動をモニタリング。</p> <p>③評価段階(Check): 人道調整官が作成する年次活動報告書、CERF年次報告書等により成果を評価。</p> <p>④フォローアップ(Act): CERF諮問委員会(年2回)やOCHAドナー・サポート・グループ会合、プール基金作業部会等の助言・提言を踏まえ、必要に応じ改善を図る。</p>				
担当課・室名	国際協力局 緊急・人道支援課				